

談話会つうしん

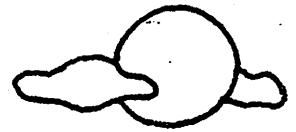
東京蜘蛛談話会 NO. 52

「早稲の首や分け入る石は有磯海」芭蕉、暑さの厳しい夏も過ぎ、涼しい秋の風を感じる季節とほりました。秋は読書の季節、雲樹の季節、そしてクモの観察をするのに良い季節です。お便りお待ちしております。



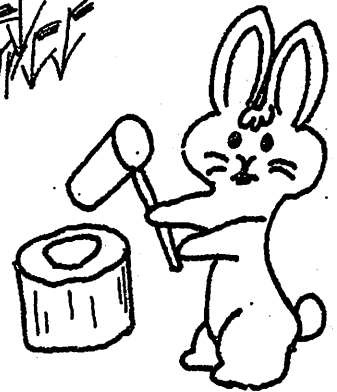
新入会員の方

立川晴二 〒177
東京都練馬区関町北
4-21-61



住所変更の方

佐藤幸子 〒233
横浜市港南区日野6丁目11番
16-103



Part 1.

昭和60年度 合同例会のお知らせ

日時：11月24日(日) AM 10:00 ~

場所：大橋区民会館

03(469)1321, 1322

参加費：中高生 500円 一般 1,500円

..参加方法等くわいことはP6を御覧下さい..

福岡県の大熊千代子さんより

千園先生のフィールドで合宿と知り、思わず福岡一長野の距離を忘却してしまいました。想像通り初めての信州はすばらしい所で、大朝でのクモ探訪は昼も夜も楽しいものでした。宿題のシブノアシブがクモの生態も見届けました。氏宿「こぶし」の心こもったお料理が美味だ、とのこと。梅林さんのフード乗せていただいたことも楽しい思い出になりました。千園先生、お世話をいただいた熊田さんをはじめ、初めての参加を暖かく迎えて下さった仲間の皆様に厚く御礼を申し上げます。来年も参加（場所がどこでも）したいなーと思っております。

クモの同定・勉強会

東京都の松本誠治さんより

同定会の報告

1985年9月8日、杏林大学生物学実習室で、クモ同定会が行なわれました。会員外を対象にしたのではないので、ただ名前をつけるだけの同定会ではなく、クモの標本をみながらの勉強会という気持で行ないました。以下、収穫をいくつか報告しておきます。

1. キンイロエビグモ（雌）：外雌器により同定。全体白色味つよく、キンイロというのが不思議でした。

2. シナカニグモ（雄）：触肢交接器により同定。頭胸部は黒褐色で中高両側の白斑と眼域前縁が白色なのが特徴的でした。

3. セマルトラフカニグモ（雄）：触肢交接器により同定。触肢腿節の形に改めて驚きました。

4. タイリクアリグモ（雌）：外雌器、第1脚脛節および第1脚膝節下面により同定。アリグモに似た色彩の個体でした。

5. ヤサアリグモ（雌）：改めてみると歩脚の刺の状態・外雌器は、タイリクアリグモによく似ています。腹部下面が全体黒色でしたが、アリグモとの区別点となるか否か再検討を要します。

標本持参者が予め同定し、種を確定する決め手が見つからないものとか、わずかに違うので確定する自信がないとかいうものばかりでしたので、結局わからないものばかりという結果になってしまいました。例えば、クロナンキングモの雄に似ているが触肢膝節先端下面に突起がないので、クロナンキングモとしてよいかまよっているとか、同じ場所で5種類の雄がとれているが雌は1種類だけで、どの雄と同種となるかわからないというフクログモの一種とか、要検討のラベルを入れなければならない標本が続出しました。今後は、事前に「見たいクモ」を募集して、それらのクモをじっくり見る会というのでもいいようにおもいます。



夏の合宿

7月27日～29日まで長野県の穂高で合宿が行われました。その時の感想文です。

— 神奈川県 佐藤 幸子 さんより —

本年の東京蹴球談話会の合宿は中部山岳国立公園の穂高で行われた。地元の方の協力のおかげで、民宿「幸長(コガシ)」を中心に、十国先生のHomegroundの探訪と相成ったのである。

7月27日。大糸線穂高駅に1:00集合。Frying panの中で焼かれるような暑さであったが、一同元気で「幸長」に到着してビックリ。熊田さんのお宅のある羽村町で長い間お泊り。屋敷を借りて居られた御一家であつた。その上、自然の生き物に、ことさら興味と理解のある方々だ。たのみの下、特に楽し合宿には、午後、早速宿の近辺のクモグモを探した。関東のクモと大体同じであつたが、シダカニグモの雄の超特大が居て、おどろいた。夕方、福岡から大熊さんが到着。夕食が始まる頃池田さんが可憐なお嬢ちゃん二人と共に来着。にだでもにぎやかな宿のまわりで行われた。28日は穂高連峰入口の「三股」から山に入つた。このあつたに、お庭でクモ・シダカニ・エゾグモが頭に付いた。お庭でクモを沢山教えて頂いた。そのほか、キタドヨウグモ・シロタマヒメグモ等、スミの対面をした。昼食の時にのんだ清水の味は忘れられない。夜間観察は「須砂エ」。そこでは東京蹴球談話会のTrademarkのヨウボシワシグモ。もうしきクモが観察された。平地のように見えても標高が高いのか、夜の観察は涼し過ぎる位だ。

29日は栗尾山の満願寺。お寺は丁度修復中であつた。今まで観察されたクモにオウギグモとアニアコツグモが加えられたが、ヤマジサラグモは、私にと、て久しぶりの対面であつた。お昼はこれら十国先生に御案内頂き「俵屋」でおそばを食べ、アイスクリームも食べた。一同開放に「な」で、三日間天候に恵まれて台風にも会わず、参加者も少く、本当に素晴らしい合宿だ。最後にいろいろとお骨折りと頂戴した。十国先生に厚くお礼申し上げます。本当に有り難う。



東亜蜘蛛学会17回大会 に参加して

井上房枝

お天気は快晴。青聖があごやかであるが、暑い日が続く8月24~25日、大阪の大阪市立労働会館にて17回大会が行われました。会員の方々が各地から約50名参加し、とても盛会でした。講演も27ありました。その中からいくつかを紹介します。

アオグロハシリグモの日周活動 浅間茂・佐藤幸生
大野啓子氏は、アオグロハシリグモの徹夜の観察の結果を報告しました。クモが多く動き回る時刻があるようです。

ヨリメグモの網構造について 新海明・新海栄一氏は、ヨリメグモの造網行動から、網が不規則状に見えるのは、こしき部でタテ糸が一度噛み切られる為だそうです。

シノビグモの生活史断片 貝谷憲治氏はシノビグモの交尾行動・親グモと子グモの行動についてと生活史について発表されました。飼育をしている私にとってとても興味ある発表でした。

クロキマケムリグモの生活史について 加村隆英氏は、飼育、野外観察によって、産卵時期が5~7月であることがわかりました。このクモは2年1化のようだそうです。私の飼育しているクモは1年1化ですが、それ以上であるとすると飼育が大変ですね。

その他、特別講演として大崎茂芳氏による蜘蛛の糸の耐熱性などの発表がありました。クモの糸を巻き取る為に電動蜘蛛糸巻機を作ったそうです。シンボジウムとしてヒメグモ科の分類と生活様式の多様性について講演が行われ、活発な討論がありました。大変、充実した2日間でした。

会計報告

1985年10月9日現在

会費使領報告(敬称略)

58年度
渡辺好章

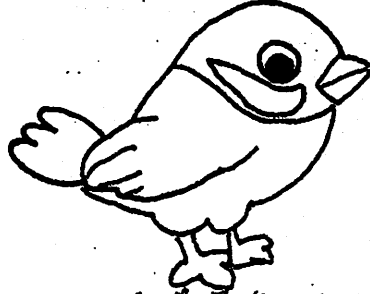
59年度
渡辺好章

60年度
鶴田忠雄, 鶴田明子, 貝巻憲治, 小針廣, 立川晴二
磯島隆

61年度
鶴田忠雄, 鶴田明子, 磯島隆

寄付
渡辺好章様 400円

口座番号 横浜0-1460



……会計についてのお問い合わせ、御質問は

〒226 横浜市緑区池辺町2947 井上房枝 045(94)3121

〒211 川崎市幸区小倉1061 小池牧子 044(588)5422

家の周りのクモ 井上房枝

私の家は、横浜にありながら、夏の夜はホタルが飛ぶかい
また、カブトムシが家の明かりに飛んでくるような所です。
ゆりのような所ですから、窓を開けますと、イエゴエモが見られ
また、ジョロウグモも10匹位見ることが出来ます。なにしろ
植木屋さんがクモの巣がある為に草刈りにはいれたいほど、
ジョロウグモがいるのです。また、私の部屋にはウツキコモ
リグモの卵や、ヒラタグモ、センショウグモなどのお客
さんが、はい、てきます。色々なクモが夕く見られるのでこ
れからも観察をしていきたいと思っています。

Part 2



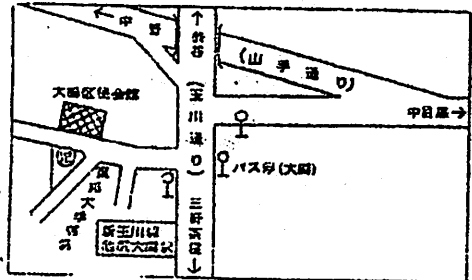
合同例会のお知らせ

日時: 11月24日(日) AM 10:00 ~

場所: 大橋区民会館

参加費: 中高生 500円 一般 1,500円

今年も合同例会を開催します。当日は講演発表とお互いの親睦を深めていただく為の簡単な懇親会を予定しております。ただ今講演を募集しております。99人の方々の御参加をお待ちしております。



出欠のお返事は同封の

ハガキにて 11月10日まで

* 欠席される方も必ず近況を書いて御送り下さい。なお、返信に書かれた近況は週信に掲載させていただきます。

返信に書かれた近況は週

くわしくは事務局まで



事務局より

KISHDAIAI } の原稿を
通 信 } 募集して
 } あります。

会費の納入は御
早めへ!

11月8日(金) 滝沢(新宿西口店)において PM 6:30 ~ 運営委員会を行います。運営委員会は公開しておりますので、どうぞ御自由に御参加下さい。くわしくは事務局まで。

事務局

松瀬祐司 03(392)9962

〒167 杉並区萩原3-7-6~207

編集

嶋田順一 04297(3)3022

〒357 飯能市本町5-4

通信編集

鈴木勝浩 0489(91)2984

〒343-01 北葛飾郡松伏町松伏 3.385

雑誌会通信 10.52

編集: 鈴木勝浩

代行: 井上房枝

10月20日印刷 発行

東京蹴蹴談話会